

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【公開番号】特開2002-281436(P2002-281436A)

【公開日】平成14年9月27日(2002.9.27)

【出願番号】特願2001-76846(P2001-76846)

【国際特許分類第7版】

H 04 N 5/91

G 11 B 7/004

G 11 B 20/12

G 11 B 27/00

G 11 B 27/10

H 04 N 5/765

H 04 N 5/781

H 04 N 5/85

H 04 N 5/92

【F I】

H 04 N 5/91 Z

G 11 B 7/004 Z

G 11 B 20/12

G 11 B 27/00 D

G 11 B 27/10 A

H 04 N 5/85 B

H 04 N 5/781 5 1 0 L

H 04 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月9日(2004.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の記録メディアを同じ時期にアクセスする情報記録再生装置において、

第1の記録メディアの情報記録状態から第2の記録メディアの情報記録状態に遷移する場合、繋ぎ部分の情報として、前記第1と第2のメディアの両方にそれぞれオーバーラップ期間記録情報を記録し、

前記第1の記録メディアの再生用管理情報には、前記オーバーラップ期間記録情報の開始位置を示すエントリーポイント情報を記録し、前記第2の記録メディアの再生用管理情報には、前記オーバーラップ期間記録情報の終了位置を示すエントリーポイント情報を記録し、

前記第2の記録メディアの再生用管理情報の中の前記終了位置を示すエントリーポイント情報は、前記オーバーラップ期間記録情報をスキップさせるためのスキップ処理用情報として用いることを特徴とする複数の記録メディアの映像記録再生方法。

【請求項2】

前記第1の記録メディアは、前記情報記録再生装置に対してリムーバブルな光ディスクであり、前記第2の記録メディアは、前記情報記録再生装置に内蔵されたハードディスク

であることを特徴とする請求項 1 記載の複数の記録メディアの映像記録再生方法。

【請求項 3】

複数の記録メディアを同じ時期にアクセスする情報記録再生装置において、
第1の記録メディアの情報記録状態から第2の記録メディアの情報記録状態に遷移する場合、
繋ぎ部分の情報として、前記第1と第2の記録メディアの両方にそれぞれオーバーラップ期間記録情報を記録する手段と、

前記第1の記録メディアの再生用管理情報に対して、前記オーバーラップ期間記録情報の開始位置を示すエントリーポイント情報を記録する手段と、

前記第2の記録メディアの再生用管理情報に対して、前記オーバーラップ期間記録情報の終了位置を示すエントリーポイント情報を記録し、前記第2の記録メディアに記録されている前記オーバーラップ期間記録情報をスキップさせるためのスキップ処理用情報として用いる手段と

を具備したことを特徴とする複数の記録メディアの映像記録再生装置。

【請求項 4】

前記第1の記録メディアは、前記情報記録再生装置に対してリムーバブルな光ディスクであり、前記第2の記録メディアは、前記情報記録再生装置に内蔵されたハードディスクであることを特徴とする請求項 3 記載の複数の記録メディアの映像記録再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

ステップ B 9において、現在地点よりも後のエントリーポイントがない場合には、タイトルの末尾まで移動することになる。尚、ステップ B 3 から、DVD-RAM再生モードに移行した場合にも、再生キー操作があったかどうかを判定する（ステップ B 11）。再生キーの操作があった場合には、マイクロコンピュータブロック 30 は、DVD-RAMの管理情報からタイトルの先頭アドレスを認識し（ステップ B 12）、先頭アドレスからの再生を開始する（ステップ B 13）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】

